

地区の概要

仲塔地区は仲塔、財木、木浦、胡麻山、奥村の5集落で構成されており、人口は約90名です。椎葉村の北側に位置し、ひむか神話街道を北上して国見トンネルを抜けると五ヶ瀬町につながります。仲塔溪谷では秋になると美しい紅葉が見られます。



地区の未来像

生きがいと安心のある仲塔地区



作成の過程

地区住民なら誰でも参加できるワークショップ「仲塔みらい会議」を2回行いました。その後、公民館長や仲塔溪谷の館運営委員会などの皆さんと打ち合わせを行い、地区住民による内容の校正を経て完成しました。

プロジェクト

01 仲塔溪谷の館 魅力化プロジェクト

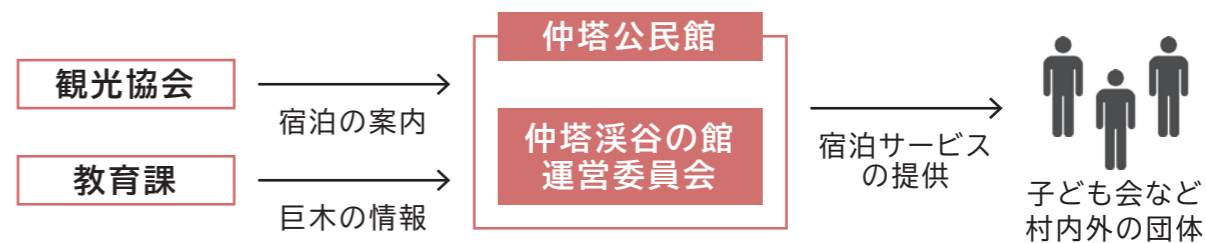
概要

観光資源を記載したマップや看板を観光客向けに作成する。また、子ども会や部活の合宿、村内の団体向けに溪谷の館を利用してもらえるようにPRをする。

目的

巨木などの魅力的な資源が観光客に知られていないため、魅力を伝えることでより楽しんでもらいたい。

実施体制



メモ

02 レク&スポーツで交流プロジェクト

概要

グランドゴルフ、バレー、パタンク、カーリングなど、みんなが楽しめるレクリエーションを企画する。2022年の5月頃に第一回を実施し、終了後にその後の計画を立てる。

目的

コロナ禍によって地域内の交流の機会やスポーツの機会がなくなってしまったので、皆が集まる機会をつくりたい。

実施体制



メモ

地域住民の声

館長の想い
那須安雄
(なすやすお)



今回話し合ってきたプロジェクトでは「仲塔溪谷の館」をさらに魅力化すべく、仲塔にある巨木や神社、川などの遊び場を知ってもらうためのマップや看板づくりに取り組むことを決めました。季節によって変わる山や溪谷、仲塔の自然を訪れる人に楽しんで帰ってもらいたいと思っています。

現在はコロナ禍で集客が難しい状況にありますが、その中でも来てくださったご家族や子どもたちは楽しそうに満喫してくれた様子で、とても嬉しく思いました。

コロナの終息後にはさらに多くの方に宿泊してもらえよう、村内の子ども会やクラブ活動、村外の観光客に向けたPR活動も必要です。観光協会などにもお世話になりながら、そういった宣伝も強化していく方法を考えていきたいです。

仲塔溪谷の館運営委員会を中心に、地区の皆がボランティアのような形で助け合って運営をしているのが現状ですが、将来的にはお客さんが年間を通してきてくれるような工夫をし、得た収益を皆に分配できることを目指しています。

仲塔地区公民館長の前任を10年間務めました。その間に仲塔小学校が閉校となり、跡地をどのように利用するか数年間に渡って話し合ってきました。住民へのヒアリングや会議を重ね、各地への視察をして計画を練り、教育委員会などとも相談した結果、簡易宿泊施設の機能を持つ「仲塔溪谷の館」の建設に至りました。

農協に長年勤めていたこともあり、椎葉村内の隅から隅まで、人も土地もよく知ることができました。その中で、他の地区に「ここはいいなあ」と思う場所がたくさんあったように、仲塔にもまだ広く知られていない魅力的な場所がたくさんあります。溪谷の館だけではなく、そういった地区の良さをアピールしながら館の利用を促していきたいです。

地区内でも高齢化率は上がる一方で、動ける若い者の数が少なくなってきて心配な面もありますが、80歳90歳になっても地区の活動に出てきて楽しんでほしいですし、そういった交流を通して地区の人々に話題や活気が生まれ、新しいものを知ったり挑戦したりするきっかけになればと思っています。

黒木芳弘
(くろぎよしひろ)

